

四七、福島縣立盤城中學校

石城郡平町に在り元町立學校組合分校たりしか明治
三十一年縣立となす生徒定員六百人なり



四八、白水阿彌陀堂

(平驛の西凡二里)

石城郡内郷村大字白水に在り堂宇縦横七間中に本尊佛彌陀、侍佛觀音、勢至、多門、持國の五軀を安置す佛工運慶の作なりと傳ふ堂宇は明治三十五年七月特別保護建造物に指定せらる安置する所の佛躰彌陀、觀音、勢至の三軀は明治三十六年四月國寶に指定せらる



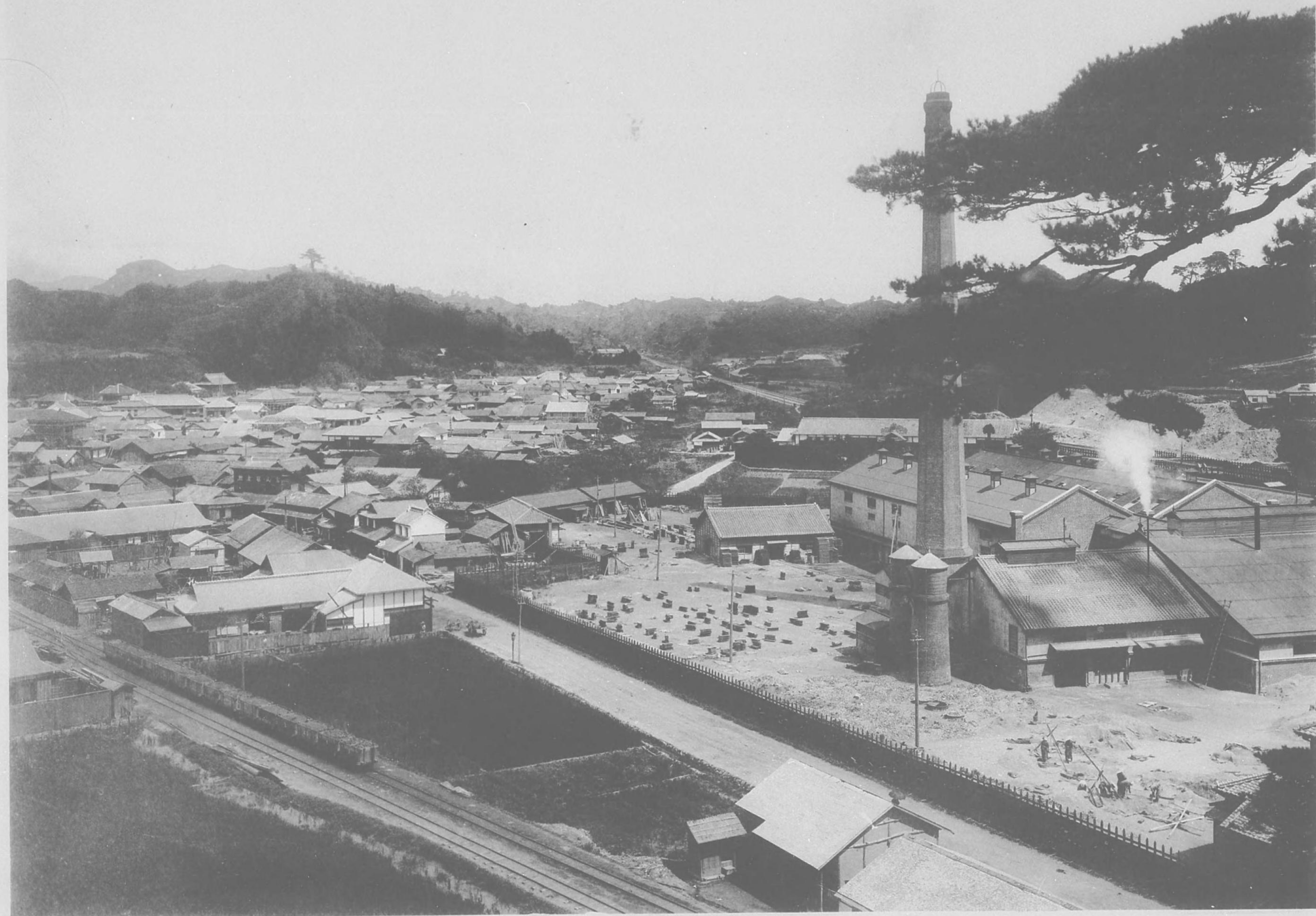
四九 盤城炭礦株式會社内郷炭坑

磐南の地石炭を産する年に百十餘萬噸就中盤城炭礦株式會社を以て最と爲す明治十七年の創立に係り甚た盛なりと云ふ



五〇、湯本温泉

石城郡湯本村に在り舊佐波古温泉是れなり人家貳百餘軒を連ね一小都色を成す旅舎皆浴槽を設け以て客を延く近時品川耐火煉瓦製造所を設く建築の壯大なる一見其の盛況を想はしむ



五一、福島縣水産試験所

(湯本驛の東南凡一里十三町)

石城郡小名濱町に在り明治三十五年の設立にして水産物の製造並に池中養魚を行ひ以て當業者に模範を示し近年更に西洋形帆船を新造し漁夫の練習と遠洋漁業に關する試験とを行ひ以て水産業の改良發達に資する所あり



五二、勿來關址

(勿來驛の西凡二十五町)

石城郡窪田村大字關田常陸磐城の國境に在り關は元明
帝和同年間置く所なりと云ふ鎮守府將軍源義家東征此
地を過きり櫻花の詠を以て其名世に顯はる

千歲集

源義家

ふく風をなこそこの關とおもへとも

道もせにちる山さくらかな



明治四十一年九月四日印刷
明治四十一年九月七日發行

著 作 者

福 島 縣 廳

寫 真 師

田 村 鐵 三 郎
福島市宮町十五番地

同

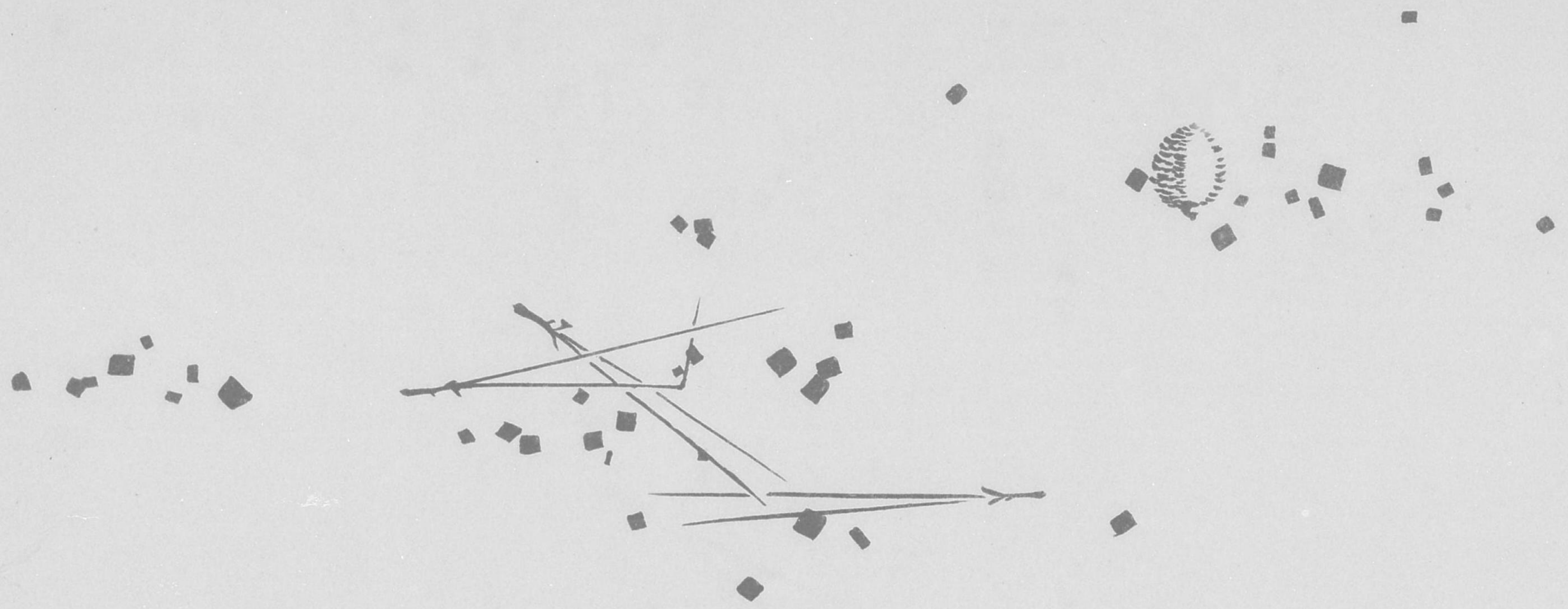
大 畑 泰 助
福島市大町十五番地

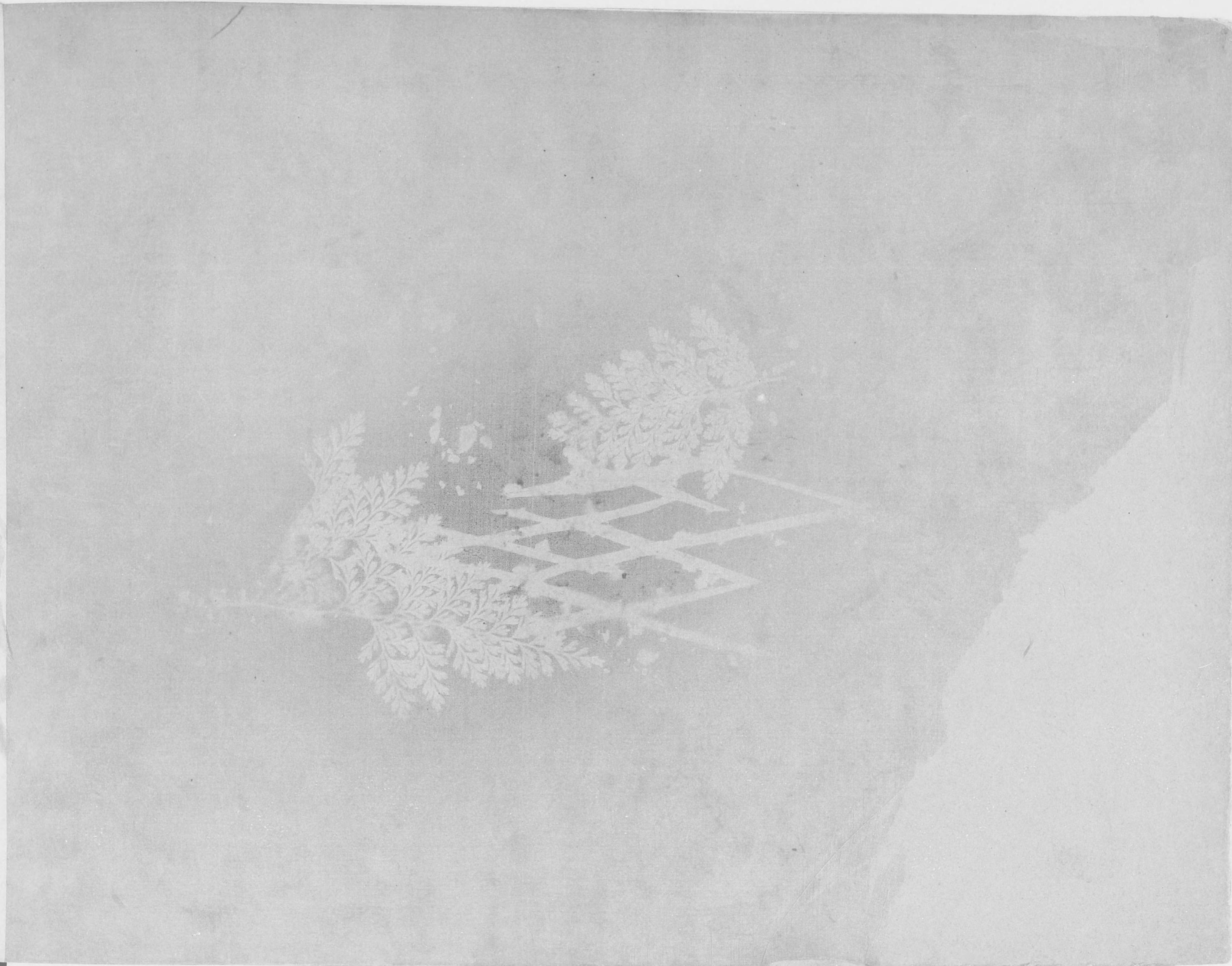
印 發 者 兼
刷 行 者 兼

小 栗 栖 香 平
東京市神田區末廣町
拾番地兒童新聞社
(電話下谷八〇四番)



406
21







46
21

終

